

投稿規程

1. 日本小児保健協会の機関誌である小児保健研究は、様々な職種の会員による研究論文発表の場、また会員への情報伝達の場です。投稿原稿は会員による小児保健領域のもので、未発表のものに限ります（原則として日本語）。著者（連名者も含む）は個人会員であることを要します。他誌に掲載済みまたは掲載予定のものは採用しません。なお、同一表題で複数報に分割して投稿する場合で1年間に3報以上となる場合は、3報目より特別掲載の扱いとなります。

2. 原稿の採否は編集委員会に一任して下さい。論文は、研究（原著）、報告、資料（注：考察を加えることのできない生データ）、その他のいずれかをご指定下さい。場合により原稿および論文の種類の変更を求めることがあります。

研究（原著）は、子どもの保健にかかわる主題について、科学的方法論と考察により論を展開し、答えを導く独創的な学術論文とします。

報告は、活動内容が保健・医療の現場で、または家族・社会的に、または行政・政策上などに意義があると判断される論文とします。

研究と報告は、目的、対象と方法、結果、考察、結論などの構成になるようにしてください。

資料は、小児保健にかかわる有用な統計資料等に若干の説明を加えたものとします。

3. 投稿原稿は、ワードなどを使用し、A4判、10.5または11ポイント、横40字、20行の印刷物を、順に頁番号を記して提出してください。1頁800字にするのは、査読意見を書き入れる場合の便宜のためです。原稿にコピーを2部添え、折らずに投函してください。採用された最終原稿は、その電子メディアを電子メールでお送りいただくか、または、フロッピーディスク等のコピーを送付ください。

また、1論文につき、英文、和文それぞれ5個以内のキーワードをつけて下さい。キーワードは索引として役に立つものを選び、略語は使用しないようにして下さい。さらに、投稿論文には200字～300字の日本語の論文要旨、及び300語以内の英文要旨も極力同時につけて下さい。要旨は、目的、対象と方法、結果、考察を簡単にまとめて下さい。また、結論を最後に載せる場合は、著者が最終的に最も述べたい内容をまとめて下さい。

表紙に表題、著者氏名、所属、職域（注）、英文表題、英文著者氏名を記して、原稿の表に付して下さい。

注：職域の記載は以下を参考にして下さい。

医師（診療科目）、歯科医師、保健師、助産師、看護師、管理栄養士、栄養士、保育士、養護教諭、教諭、研究職、ソーシャルワーカー、臨床心理士、その他。

英文表題・英文著者氏名の例

A Longitudinal Study on Standing Height and Weight in Japanese School Children

Yoko Ono, Jokichi Takenine, Rintaro Mori

4. 表題は本文の内容を推知できるよう簡潔明瞭にし、本文もできるだけわかりやすい表現を用いて下さい。

5. 人および人体材料を用いた研究の場合は、容認され得る倫理基準に適合していることを要します。完全なインフォームド・コンセントを得、その旨論文中に記述して下さい。動物実験を含む研究の実施計画は世界医師会によるヘルシンキ宣言（2000年10月第52回総会による修正）による規程に従って下さい。

<<http://www.med.or.jp/wma/helsinki.html>>等で参照できます。日本医師会による日本語訳が必要な場合は編集委員会にお問い合わせ下さい。

6. 投稿者の氏名、所属、勤務先（名称、所在地、電話番号、Fax番号）および自宅の住所、電話番号を別紙（コピー不要）に明記して下さい。また、連名者とその登録都道府県も明記して下さい。

7. 学会、公開の研究会、委員会、集談会等で発表したものは末尾にその旨を明記して下さい。

本論文に関し、研究費助成を受けた場合は、その旨を明記して下さい。

8. 投稿原稿は1篇15枚（800字詰め）以内（図表と文献を含む）を原則とします。これは刷り上がり約6頁に当たります。

9. 早急な掲載を希望する場合は、編集委員会で適当と認められた時に限り配慮することがあります。この場合掲載時の扱いは、特別掲載となります。

10. 図表は明確に書いて1枚ずつ別の用紙に貼付し、文中に挿入の位置を明示して下さい。

11. 章節のはじめ方は、なるべく、I, II, …; 1., 2., …; i, ii, …; a, b…の順にして下さい。文中および図表の数字はアラビア数字、ギリシャ数字を用い（すなわち1, 2, 3, … I, II, III, …）度量衡の単位は次のように記して下さい。kg, g, mg, m, cm, mm, l, dl, ml, g/dl

12. 文体は平易な口語体を用いて下さい。

常用漢字を用いることを原則とし、人名、物名、地名は原則として原語を用い、外国語はワードプロセッサ等による印書、あるいは活字書体として下さい。

13. 文中の引用文献には引用順に「¹⁾」, 「^{2,3)}」, 「⁴⁻⁶⁾」等、原則として文末に番号を付し、引用文献は末尾に一括して番号順に記して下さい。なお、引用文献は主要論文に絞る、なるべく印刷物にして下さい。やむを得ずインターネットを引用する場合は、引用時の日付を入れて下さい。引用文献の記載は次の形式によって下さい。

- i) 雑誌の場合：著者名, 表題, 雑誌名 発行年；巻：最初の頁—最後の頁.
- ii) 単行本の場合：著者名, 書名, 版数 発行社の所在地名：発行社, 発行年 分担執筆の場合：著者名, 分担執筆部分の表題, 編集者名, 書名, 版数 発行社の所在地名：発行社 発行年：分担部分の最初の頁—同最終の頁
- iii) 著者名, 編者名は3名までは全員を記載し, 4名以上の場合は最初の3名を記載し, 以下「他」(日本語文献の場合)あるいは「et al」(外国語文献の場合)とする。
- iv) 例
 - 1) 保健太郎, 小児花子. 小児保健指標に関する研究. 小児保健研究 1993；2：121-125.
 - 2) 新宿次郎. 乳幼児身体発育値. 片町一郎編. 小児の発育値. 第2版. 東京：小児保健社, 1991：651-670.
 - 3) Myers BW, London WP, Parker JT, et al. Infant Nutrition in East Africa. J Child Health 1994；29：21-30.
 - 4) Wolf WT. Biostatistics in Child Health. Mayson WW, Reymer AB, Fine PM, et al, eds. Introduction to Statistics for Health Workers. Philadelphia：Willowgrove, 1992：1021-1085.

- 14. 掲載料について
 - i) 刷り上り4頁(約800字10枚)までは原則として無料とします。
ただし, 図版作成に要する製版代, 表の組み代, 図表版下の作成に要するトレース代および4頁を超える部分の印刷に要する諸経費はすべて著者の負担とします。
 - ii) 特別掲載の場合
実費の全額(超過, 未超過を問わず印刷に要するすべての経費)を著者負担とします。なお, このために雑誌郵送料の超過があった場合は, 超過分の全額(発行部数約5,500部)を負担していただくことがあります。
 - iii) あらかじめ, 超過掲載料等の見積りが必要な方には, お申し出により概算をお知らせいたします。
- 15. 論文等の著作権は, 当協会に帰属させていただきます。
- 16. 別刷を希望される場合は, あらかじめお申し出いただくことにより, 実費著者負担のうえ送付します。
- 17. 原稿の送り先
〒160-8306 東京都新宿区西新宿5-25-11
和光堂西新宿ビル2F
日本小児医事出版社内
「小児保健研究」編集部

(平成23年9月2日改訂)

編集委員名簿 (2012年4月～2014年3月)

委員長	南谷幹之	埼玉県立小児医療センター 保健発達部
副委員長	◎加藤忠明	国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部
編集担当理事	◎鈴木順造	福島県立医科大学看護学部 教授
委員	伊藤龍子	国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部
	遠藤数江	国立看護大学校 小児看護学 講師
	岡敏明	札幌徳洲会病院 小児科・血液科 部長
	小田慈	岡山大学大学院 保健学研究科 教授
	栗原玲子	東京都福祉保健局 少子社会対策部 家庭支援課 母子保健担当係長
	小枝達也	鳥取大学 地域学部 地域教育学科 教授
○	小林正子	女子栄養大学 発育健康学研究室 教授
○	瀧本秀美	国立健康栄養研究所 栄養教育研究部長
	竹原健二	国立成育医療研究センター 成育政策科学研究部 研究員
	堤ちはる	日本子ども家庭総合研究所 母子保健研究部 栄養担当部長
	徳村光昭	慶應義塾大学 保健管理センター 教授
	鳥居央子	北里大学 看護学部 教授
	長谷川智子	大正大学 人間学部 教授
○	秦堅佐工	はたクリニック 院長
	前田隆秀	日本大学 松戸歯学部 小児歯科学講座 教授
○	正木拓朗	マサキ小児科アレルギー科 院長
	吉田弘道	専修大学 文学部 心理学科 教授

(◎は理事, ○は編集担当幹事)